

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	開設から1年の期間において、会議は2回開催しているが、定められた回数に達していない。また、市職員や地域包括支援センター職員も参加していない。内容に関しては地域との結びつきのあるものが殆どなく、より充実したものにしていかなければならない。	年間6回、2ヶ月に1回開催し、市職員・地域包括支援センター職員に参加していただき、内容も地域との情報交換・共有等、より充実させていく。	開催日程を年間計画にあらかじめ設定し、市職員や地域包括支援センター職員、地域住民代表に参加を積極的に呼び掛ける。地域住民代表には事前に、地域での行事等の予定を知らせていただけるようお願いする。	12ヶ月
2	10	利用者・家族からの要望や苦情は、どの職員もいつでも受けられる体制にはなっているが、記録として残すことができず、職員間で共有されていない。	要望や苦情の情報を職員全員が共有し、利用者・家族が望むケアを提供できるようにする。	職員全員が情報を共有できるよう苦情相談報告書等を作成し、職員ミーティング等の場でその内容を検討し、サービスの質の向上を図る。	3ヶ月
3	26	介護計画は3ヶ月に1回の見直しを行い、大きな状態変化があればその都度見直しているが、利用者の細かな変化に早期に対応することができていない。また3ヶ月の間のモニタリングを記録に残せていない。	利用者の細かな状態変化にも直ちに対応できるように、介護計画をより充実したものにする。	個々の利用者について、介護計画作成日から1ヶ月毎にモニタリングを実施し記録に残す。	3ヶ月
4	35	火災等の災害時のマニュアルを作成し、職員がいつでも確認できるようにしているが、消防署と連携を取っての実践的な訓練が行えていない。	災害発生時に職員が迅速に対応でき、利用者の安全を確保できるようにする。	消防署と連携を図り、早急に避難訓練を行う。また、近隣住民の協力が得られるよう運営推進会議の場で話し合う機会を持ち、支援体制の整備をしていく。	3ヶ月
5	6	マニュアルを作成し職員がいつでも閲覧できるようにしているが、定期的な内部研修等が行えておらず、職員全員の理解が不十分である。また、玄関に関しては、安全面への配慮から施錠されている。	身体拘束に関して職員全員が共通した認識のもと、玄関の施錠も含めた身体拘束をしないケアを実践していく。	内部研修を開催し職員全員の理解を深め、常に日々のケアを振り返る体制を築く。玄関の施錠に関しては、何らかの代替策がないか検討していく。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。